

## 令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

### 【学校 目標】

○自らじっくりと考え、考えたことをもとに行動をおこす青山っ子  
校内研究テーマ:主体的に考えを深めることができる子どもの育成

### 【現状と課題】

○視点1 主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業づくりが必要である。  
○視点2 学ぶ意欲を引き出す学習集団、支持的な学級風土を築く必要がある。  
○視点3 良質な授業改善、OJTを意識した学校組織力・教師力向上に努める必要がある。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

#### 【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①子ども一人ひとりの学びの状況に応じた「個別最適化」された教育を目指し、基礎的な知識・技能の指導の充実を目指す。 ②主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業づくりを目指す。子どもたちが自ら考え、友だちに伝えたり、考えを受け取ったりする活動によって、自分の考えの妥当性を確かめ修正し興味、新たな考えを生み出す深い学び「夢中」になって学ぶ姿を追求する。	①学校評価(教師アンケート)		
	②校内研究会の課題と成果(1学期・2学期)		
	③校内研究会の課題と反省(年度末)		

#### 【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①自己肯定感を高める…全ての子が夢中になって取り組む学習を工夫し、個に寄り添って共感的に受け止める。 ②子どもの自己決定の場づくり…自ら目標を立て、自分の考えを形成できる支援に努め、安心して表現できる学級づくりを目指す。 ③学習場において、友だちと考えを聴き合うことで、温かく支持的な学習集団を育てる。	①保護者等への教科・特別の教科としての道徳などの授業公開(保護者アンケートなど)		
	②支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践(学校教育評価委員会アンケート)		
	③ガッツンプリントの成果		

#### 【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①全職員が、学校全体で組織的かつ継続的に、「主体的・対話的な学び」を意識し、授業改善に努める。 ②日常の課題を学年や研究部で共有し、それぞれの立場から検証し、解決策を練り上げ、行動連携していくよう努める。 ③OJTのメンター方式を活用し、互いに学び合いながら自発的に成長していくことを目指す。	①「読み解く力」「主体的・対話的で深い学び」「学び合いのある授業デザイン」を追求する授業研究会や研修会の実施(教員アンケート)		
	②学校教育評価(教員アンケート)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・今年度は、学年ごとにめあてをもち、公開授業を実施して学校全体で共通理解する場を設けることとした。学年ごとの「児童の実態」を踏まえて、課題解決に取り組むを行う形とした。
- ・教科担任制を可能な範囲で取り入れていく。学校支援員と連携や個別指導計画を活用した個別最適化への取り組みを推進する。
- ・4月と3月は職員会議で、本年度の計画と成果を全職員で共有する。年間を通しては月一回の研究推進委員会を開催し、進捗状況を各学年で共有していく。
- ・週1回の学年部会の時間を活用し、OJTの活動を進めていく。

#### 今年度の取組の成果と課題

--